

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		17 01 02	中期総合計画主要施策番号		-	担当課	部・課	監査委員事務局
事業名		外部監査運営費					内線	4213
							E-mail	kansa@pref.nagano.jp
事業の概要等	事業の目的	・公認会計士等の資格を有する者が外部監査契約に基づく監査を行うことにより、監査機能の専門性及び独立性を一層充実させるとともに、監査機能に対する住民の信頼を一層高める。						
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・専門性・独立性を有する外部監査人により、監査機能に対する住民の信頼性の向上が求められている。						
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・県の事務事業は広範多岐にわたるため、監査委員による監査だけでは、組織や事務手続きの効率性、迅速性等について対応できない部分がある。						
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・監査委員の監査と重複を避け、経費の最少化と効率性、組織運営の適正化に関して、内部統制制度の吟味・評価を行い建設的な提言・報告を行う必要がある。						
	事業内容	・包括外部監査人が、年1回以上地方公共団体の財務等について、必要と認めた特定の案件の監査を行う。						
実施期間	H11 ~		根拠法令等	地方自治法第252条の36ほか				
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価
	監査委員の監査と重複を避け、経費の最少化と効率性、組織運営の適正化に関する監査を行う。		特定の案件について包括外部監査人による監査を実施する。			「県の農業施策について」監査を実施し、指導事項等に対する措置状況を求め、改善の取り組みを促した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要	
	最終予算額 (A)		千円	15,641	15,641	15,641	国庫・県単	県単
	決 算 額 (B)		千円	15,641	15,641		実施方法	直接
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	15,641	15,641	15,641	歳出節別	・委託料 15,641
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.50	1.50	1.50	内訳等	
	概算人件費 (C)		千円	10,710	10,724	10,724	(単位: 千円)	
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	26,351	26,365	26,365			
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績	
	指摘事項等		件	38	30			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明					
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・自己の見識と判断に基づき特定の事案を選定し監査する制度は従来どおりニーズはある。 ・地方自治法に定められた外部監査制度であり、県の関与を見直す余地はない。 ・県の事務事業の中から特定の事件を選定し監査をおこなっており当面効率性を高める余地はない。		
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり				
課題の総括		包括外部監査においては、外部性・専門性によって、内部だけでは発見しにくい指導が多くなされ、県行政の効率化・最適化に大きく寄与しているが、指摘等を受けた事項に対する必要な措置について、事務局職員が改善策をフォローしていく必要がある。						